

# マルドリ方式栽培による早生温州ミカン 「北原早生」高糖度果実生産技術

## 果樹部

### 1 背景、目的

早生温州ミカン「北原早生」の糖度 12 度以上の果実は、果皮の赤みが強く食味も良好でブランド品として高単価で取引されています。しかし、気象条件によっては土壤水分の制御が不十分で糖度が 12 度に達しないこともあり、高品質果実を効率よく生産できる栽培技術の確立が求められています。

そこで、近年導入が進んでいるマルドリ（シートマルチ+ドリップかん水）方式栽培が「北原早生」の果実品質に及ぼす影響とかん水管理の目安となる生育途中の糖度の推移を明らかにし、高品質果実の安定生産技術を確立しました。

### 2 成果の内容、特徴

- 1) マルドリ方式栽培とは、高糖度果実生産に欠かせないシートマルチ栽培と樹勢維持に重要なかん水管理が可能なドリップチューブを組み合わせた栽培方法です（図 1）。
- 2) マルドリ方式栽培は、露地栽培に比べて収穫期の糖度が高まり、糖度 12 度以上の高糖度果実を生産できます（図 2）。
- 3) 8 月 1 日以降の糖度と収穫期の糖度には高い正の相関関係があり、10 月中下旬に糖度 12 度以上のブランド果実を生産するための糖度の目安は、8 月 1 日で 9 度、8 月 20 日で 10 度以上です（図 3、一部データ略）。

### 3 主要なデータ・画像など

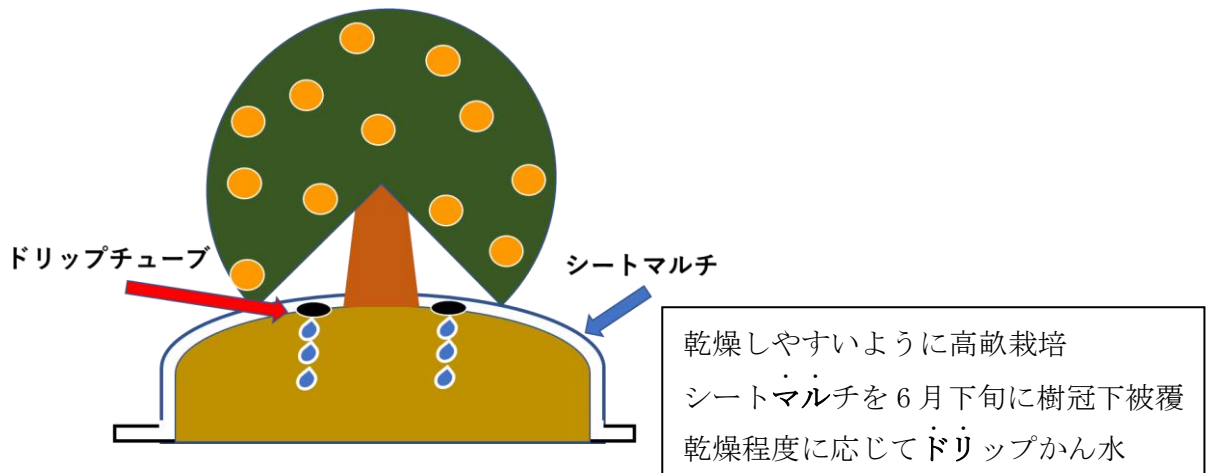


図1 マルドリ方式 (イメージ図)

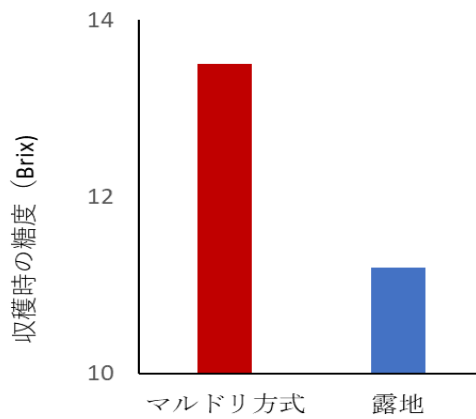


図2 マルドリ方式の糖度向上効果

- 注) 1. 10月下旬収穫した、90~93gの5果/区を調査  
 2. マルドリ方式栽培におけるかん水管理は8月上旬から1mm相当/日量を6日間連続実施。総かん水量30L/樹。

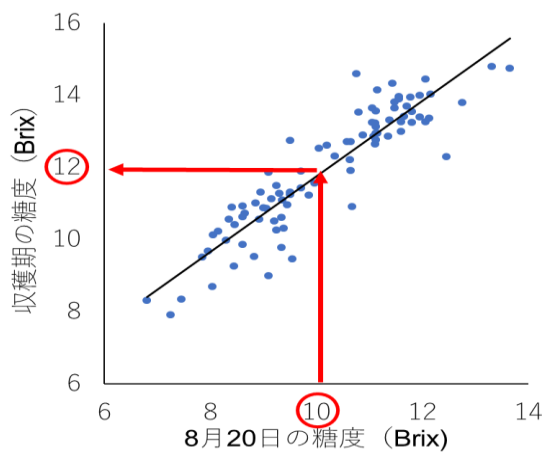


図3 8月20日と収穫期の糖度

注) データは筑紫野市および八女市 (平成29~30年)